

## 6 約1200万年前、日本海で噴火した最初の火山―見島



観音崎。割れ目からマグマのしぶきが噴き上がり降り積もってきた地層



イタジキ。大量の玄武岩溶岩がスコリア丘を埋めつくし溶岩台地をつくった

日本海ができた後、約1200万年前に玄武岩マグマが割れ目噴火を起こしました。空中に高く噴き上げられたマグマのしぶきは、火山弾や火山灰となって地表に降りそそぎ、また溶岩も流れ出しました。次に、あちこちでマグマのしぶきが、花火のように空中高く噴き上がりました(ストロンボリ式噴火)。マグマのしぶきからはガスが抜けて、スコリアとよばれる黒い軽石になり、それらが地面に降りそそいでスコリア丘と呼ばれる丘ができました。その後、地表に流れ出した大量の玄武岩マグマは、それ以前の火山をすべて埋めつくし溶岩台地を作りました。

## 7 世界でもめずらしい火山地形が見られる活火山―阿武火山群

約50の小さな火山の集まりである活火山・阿武火山群は、約200万年前から約1万年前にかけて噴火しました。阿武火山群の中で最も新しい火山は笠山です。阿武火山群は玄武岩の小さな溶岩台地や溶岩流・スコリア丘と安山岩の小さな溶岩台地です。マグマの粘り気は玄武岩、安山岩、デイサイト、流紋岩の順に大きくなります。粘り気が小さい玄武岩は溶岩台地を作りますが、粘り気が比較的大きい安山岩やデイサイトが小さな溶岩台地を作っている例は、世界中で萩でしか知られていません。



12 大島、櫃島。粘り気の大い安山岩やデイサイトで作られた溶岩台地。萩でしか見られないめずらしい火山地形。



13 尾島。安山岩マグマの通路。溶岩が割れ目から流れだした。



14 鍋山。阿武火山群の安山岩やデイサイトは鍋山以外では、溶岩台地を作っている。鍋山の溶岩ドームこそが、火山学では常識的な火山地形である。



15 玄武岩の小さな溶岩台地。このような小さな溶岩台地はめずらしい。鶴江台は溶岩台地とスコリア丘、中ノ台は溶岩台地、狐島はスパタ(粘り気小さいマグマのしぶきが地面に落下して餅のような形になったもの)の層、溶岩流、スコリア丘からなる。



16 笠山一車で行ける火山の野外博物館。溶岩流とスコリア丘で作っている阿武火山群で最も若い火山。約1万年前に噴火した。スコリア丘は大小の2段重ねになっている。

## 8 火山が作った萩三角州

萩三角州は、阿武川が運んできた土砂によって作られました。阿武川は、徳佐盆地にできた堰止め湖が、長門峡付近で決壊し湖水が流れだしてできた川です。徳佐盆地を日本海に向かって流れていた川を堰止めたのは、山口・島根県境付近に噴火した青野火山群(約130万年前から約10万年前に噴火)の溶岩ドームです。



17 萩三角州を作った青野火山群(山口市阿東～島根県津和野町に分布している)

## 9 自然災害を忘れない ―自然のしくみを学び 防災・減災に生かそう

2013年7月28日の萩市東部集中豪雨災害では、自然の脅威とともに自然と共に生きることの大切さが再認識されました。また見島付近西部断層(活断層)で、マグニチュード7の地震が起こった場合、萩市三見漁港で2.3m、萩港で1.5mの津波が予想されています。萩市の公共施設に掲示されている「海抜(標高)表示シート」を参考に、ただちに津波から避難できるように日頃から訓練しておく必要があります。

萩三角州